

「指導救命士必携 救急隊員のための研究実践ガイドブック」発刊について

来たる 10 月、消防職員を対象とした研究実践ガイドブックを発刊することになりましたので、お知らせいたします。→<http://hareshobo.co.jp/2016/0010.html>

本の内容はタイトルからもわかる通り、**消防職員を対象とした研究実践ガイドブック**です。

現在販売されている、研究のやりかたに関する本は、既に研究を行っている若手研究者や病院で働く保健医療職を対象とした本、または、英語で書かれた本の翻訳本ばかりです。そのため、はじめて研究を行う人には不向きな内容となっているものが多数です。

しかし今回の本は、内容を理解するための**予備知識は不要**。

まったくはじめて研究を行う**消防職員が読むことを想定した内容**で構成しています。

この 1 冊で研究計画からが学会発表・論文執筆まで完結できます。

本の特徴は次のとおりです。

- ・ 元消防職員である筆者が一人で執筆を行ったため、**すべてが消防の目線**、一貫した目線で書かれていることにより、理解しやすい
- ・ 筆者の経験より、**公務員という身分で研究を行うため踏むべきステップ**を解説しているため、研究を確実にスタートできる
- ・ 研究計画の作成から、研究実施後の学会発表・論文執筆の方法までを網羅しているため、**確実に研究を完結**できる
- ・ 専門用語を最小限とし、内容もはじめて研究を行うために必要な内容のみにしているため、**頭でっかちにならずに実践**できる
- ・ 「経験」に頼った視点ではなく、「科学」に基づく視点が身につくため、数値の見方が変わり、**論理的に物事を見られるようになる**
- ・ 実際に研究を行う時の順番で構成されているため、研究を行う場合にも順番を間違うことなく、**本を説明書として使いながら研究を実践**できる
- ・ 本の中で紹介する例は、すべて消防に関連するネタ・筆者が過去に行った研究を題材にしているため、**読者は自分の研究に置き換えて考えられる**
- ・ B5 サイズ（国家試験過去問と同じサイズ）と小さく薄く軽いため、**どこへでも持ち運び**できる
- ・ **1980 円（税込）とお手頃価格のため、万が一期待外れでもあまり痛くない**

消防職員を主な読者として執筆していますが、看護研究（量的研究）について悩みを抱える看護師、研究の基礎を学びたい保健医療職種の方々にとってもぴったりの内容となっています。

研究について興味がある方は、ぜひ、手に取ってみて下さい。

その他の情報は出版社ウェブサイトをご覧ください→<http://hareshobo.co.jp/2016/0010.html>

【消防救急研究会の会員の皆さまのための2つのメリット】

本を購入することで、消防救急研究会会員の皆さまにとってはさらに2つのメリットがあります。

1. 消防救急研究会の勉強会は本の内容とリンクしているため、本の内容についていつでも質問ができ、本と勉強会を併せて勉強することで相乗効果を得られる
2. 消防救急研究会の会員は、会員限定価格で購入できる（会員価格での購入方法は会員専用で公開）